

## 「TSUBASAアライアンス」への琉球銀行の参加について

東邦銀行（頭取 北村 清士）、千葉銀行（頭取 佐久間 英利）、第四銀行（頭取 並木 富士雄）、中国銀行（頭取 加藤 貞則）、伊予銀行（頭取 三好 賢治）、北洋銀行（頭取 安田 光春）、北越銀行（頭取 佐藤 勝弥）、武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）および滋賀銀行（頭取 高橋 祥二郎）は、2020年4月27日（月）、「TSUBASAアライアンス」に琉球銀行（頭取 川上 康）が新たに参加することに合意しました。

地方銀行の広域連携の枠組みである「TSUBASAアライアンス」では、2015年10月の発足以来、フィンテックや事務・システムの共同化、相続関連業務、国際業務、グループ会社の活用など、幅広い分野で協業してきたほか、マネロン・テロ資金供与対策の高度化に向けた取組みにおいても連携を開始しています。

琉球銀行の加入により参加行は10行となり、北海道から沖縄まで全国を網羅するネットワークが形成されます。新型コロナウイルス感染拡大の影響が広がるなか、地域のお客さまのご相談に迅速に対応するため、各行の知見や情報を共有していくとともに、戦略的なアライアンスを一層加速することで付加価値の高い金融サービスを提供してまいります。

### <TSUBASAアライアンス概要>

沿 革	2015年10月 千葉銀行、第四銀行、中国銀行の3行で発足 2016年3月 伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行が参加 2016年7月 共同出資によりT&Iイノベーションセンターを設立 2018年4月 北越銀行が参加 「TSUBASA FinTech共通基盤」の提供開始 2019年3月 武蔵野銀行が参加 2019年5月 滋賀銀行が参加 2020年4月 琉球銀行が参加
連 携 目 的	○地域の持続的な成長や金融システムの高度化、参加行グループの企業価値の増大に資する連携施策の立案・推進 ○参加行のトップライン増強、コスト削減に寄与する施策の立案・推進

以 上